広報カナダ

No.285

1月 1995

主な内容

●新春対談「生きがいを語る」 P2~7

●年頭のごあいさつ P8

●特集 農業を考えるⅡ P10~13

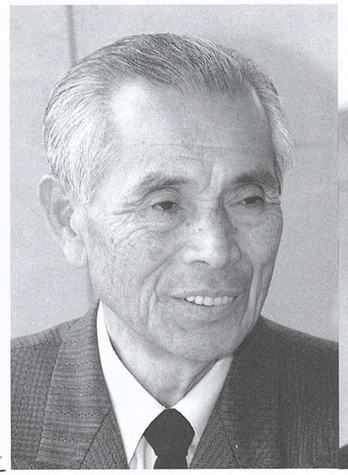
住んでみたいまち
住みつづけたいまち

■発行・編集　金田町役場企画開発課
〒822-12　福岡県田川郡金田町大字金田937-2☎0947-22-0556 FAX0947-22-0782

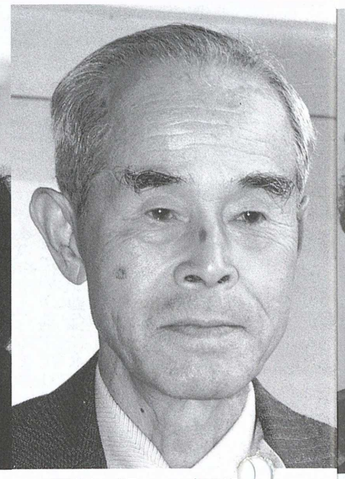
新春対談

生きがいを語る

生きていくはりあい。生きていることの幸せや意義＝生きがい。
人が暮らしていくなかで、人生最大のテーマであるこの「生きがい」について、4人のゲストを迎え町長と語っていただきました。
あなたにとっての生きがいとは、もう一度見つめ直してみませんか。


井上　次雄さん（69歳）

竹宗　サカエさん（62歳）


石川　明さん（75歳）

田代　静香さん（72歳）

大島　陸雄 町長（69歳）

司会　今日はお忙しい中をご出席いただき、ありがとうございます。

生きがいを語るというテーマのもとに生きがい健康教室の受講者代表として4人の方と町長に大いに語っていただきたいと思います。皆さんお顔はおなじみなんですが、自己紹介をお願いします。

町長　町長の大島でございます。よろしくお願いします。本日は、皆さんお忙しい中をご出席いただきありがとうございます。みなさんどうぞざっくばらんなご発言を期待しています。

石川　老人クラブ連合会会長をしています石川です。生きがい健康教室運営委員をやっています。

よろしくお願いします。

井上　教育委員会の教育委員をやらせていただいています、井上でございます。また、文化連盟の会長と陶芸教室の受講者の方に指導を行っています。

よろしくお願いします。

田代　新町4丁目の田代でございます。教室の中では、民謡をやっています。今日は楽しい対談ということで出席しました。

よろしくお願いします。

竹宗　新町2丁目の竹宗です。教室のなかでは歌謡教室を選択しております。

よろしくお願いします。

司会　ありがとうございました。それでは、4月から始まりました生きがい健康教室で、受講して役立ったこと、楽しかったことなどエピソードをお話ください。以前、下田川老人大学では、社会教育課単独の事務局でした。この健康教室では福祉係、環境衛生係、国保年金係を含めた合同事業となっています。

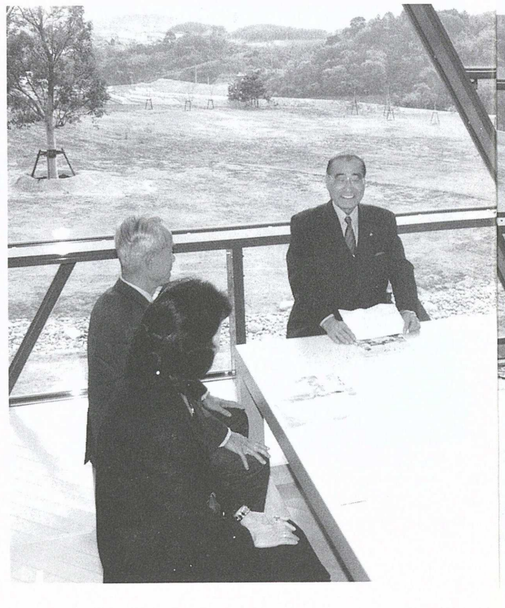
この体制も含めたところでお話ししていただければ幸いです。

町長　なんかみなさん固くなっているみたいだね。もっとワキアイアイでいきましょうよ。

全員　（笑い）……

めだまやき……？「ひおうやき」ですヨ！

井上　陶芸教室の方からということで、教室は毎週火・水曜日と行われています。火曜日はお皿とか日常生活に必要な陶器の制作をしています。水曜日は、皆さん個人の趣味で自由作品を作っています。もともと陶芸教室の始まりは、生きがい対策事業して十数年前に始まったわけです。最初は5、6人しかいなく、設備も今のようになくて手作りが主だったように聞いています。そのころ、私はまだ現職で教員をやっていました。昭和59年の3月に退職し、その後に教室に入りました。当時の教室は、プレハブづくりの雨漏りのしている場所でやっていたんですが、昭和61年に大島町長さんにお願いしたところ、設備と今のような立派な建物を建てていただいて感謝しております。



高齢化がこれから進む中で、陶芸というものから生きがいを見出していこうと、ご理解していただいたものだと思っています。現在会員は27人おりまして、せっかくの施設だからということで火入式の時、命名も町長さんにとお願いしたところ「日王焼」と名付けていただきました。近頃、産業祭りとかに出品していたところ「めだまやき」ですかとたずねられたことがあったんで、「いえいえ違いますよね、ひおうやきです」って答えたんですよ。今では間違えられないようにフリガナを打ちましたよ。（笑い）

石川　金田での下田川老人大学は、8年続いたんですよね。基準は3年だったんですけどね。年を重ねるごとに受講者が増えてこんなにも継続できました。平成5年度の閉校式のときに「ああ、来年は金田では無理か」と思っていたとこに降って湧いたようなお話が飛び込んできたんですよ。それが生きがい健康教室だったんです。皆さん、うれしく思いましたよ。

木曜日が来るのを楽しみにしています。

田代　私が老人大学に入ったのは、昭和63年のことなんですよ。その時は、「なにに入ろうかなぁ」と考えていたところ「健康にいいから、民謡にすれば肩がこらないでいいよ」って、人に勧められのがきっかけで、今でも続けていただいているんです。午前中1時間の講義の後に、お昼から民謡をしているんですが、家に帰って今日一日あったことを、私の受け売りで主人に自慢げに話すんです。

竹宗　本当にありがたく思っています。

町長　いえ、いえ。

竹宗　私は生まれつき歌が好きで、60歳になったらと思って老人大学に入ったんですよ。老人大学って聞いて始めて行ったとき、どこに老人がいるのかと見渡しましたよ。

皆さんお若くてですね、びっくりしました。先生のご指導でお腹の中から声を出す、腹式呼吸を学んで元気が出ましたね。「今日の授業良かった」って、私もよく主人に話すんです。「良かったね、歌が好きだからね」って言ってくれます。木曜日が来るのが楽しみですね。みなさんも言われていますよ、「ここに来るのが生きがいだ」って。

各教室が始まるまでの午前中には講義でいろんな話が聞けて、勉強になりますね。

町長　みなさんから楽しみであるとのご意見をいただいて、私もうれしく思いますよ。続けていくことこそ、もっともっと若々しくなるものだと感じましたね。

町長就任と同時に赤字再建団体に落ちましたよね。その期間中に、町民の皆さんにご迷惑をかけたのですが、反面、町民の皆さんの自立心が芽生えてきたことを誇りに思いますね。このことがあったこそ、今の金田町があると思いますよ。生きがい対策は、なんと言っても皆さんが健康であることですよ。私も健康のために役場まで歩いて来るんですよ。

石川　そうですね。健康がまず第一歩だと思いますね。私なんか、検診で大腸ポリープを発見して以来、健康管理に気を使うようになりましたよ。今年度から総合検診を行うようなって受けやすくなりましたよね。

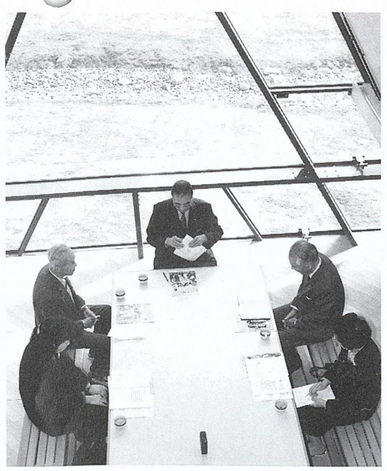
検診受けてて、よかったと思いました。

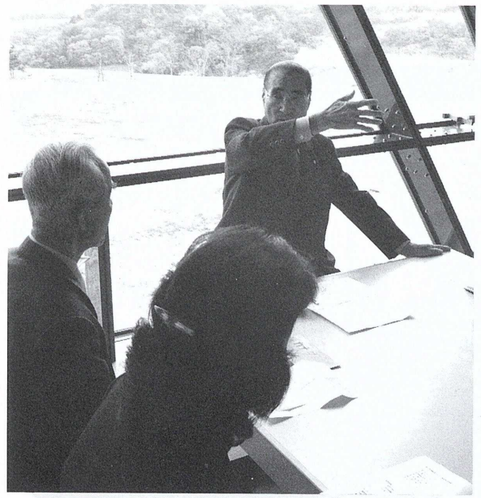
町長　私の妻が昭和39年に検診を受けて、子宮がんを発見したんですよ。すぐに摘出して再発しなかったんですよね。健康管理は、まず検診からですから、多くの皆さんに受けてほしいですよね。

竹宗　私もですね、7、8年前に自分は健康そのものだと思っていたんですよ。ところが検診結果で血糖値が高いって出たものですから、それから食事とか運動に気をつけていますね。お医者さんからは、「(糖尿病の)自覚症状が出てからは遅い」って言われて「あぁ検診を受けてよかったなぁ」と思いましたね。

町長　私も血糖値が高いんですよ。職員検診で再検査をしなさいと医者から言われてですね、再検査したところ入院ですよ。

それで減量しましたね。





司会　それでは、そろそろ本題の「生きがい」というテーマで語ってもらいましょう。

中心にあるものは、健康である。

井上　生きがいというものの中心にあるのは、健康であると思うんですよ。健康でなければ趣味もいかせないし、感じることもできないんじゃないですか。私はそう考えています。

石川　健康と、おしゃべりをする友だちも必要と思いますよね。人の出会いとか、ふれあいからいろんなことを学び、喜べると思うのですが。

田代　私がご指導受けている民謡の先生が、いつもおっしゃる言葉が、「和という言葉を皆さん考えてくださいよ」ってよく言われるんですよ。私も好きな言葉です。

竹宗　そうですね。私は、文化祭とかに歌わせていただくときに、私のヘタな歌でもみなさんが聞いてくださるですよ。そんなとき幸せだなぁと思いますね。それに私よりずっとご年輩の方も出演するんですよね。私たち若い方が練習なんかで負けていますよ。私も同じ年齢になっても歌えるだろうかと考えますね。

町長　歌謡とか詩吟なんか、歌を練習されている方は、腹式呼吸の練習をするから充分に酸素の取り入れ方を会得できるんですよね。健康のために良い方法だと思いますよ。

竹宗　えぇ私もそう思います。詩吟の練習のときなんか2時間で汗が出てきますものね。

石川　話はちょっと変わるんですが、私が今年嬉しかったのは、敬老会の始まる前座に健康教室の受講者によるアトラクションをやったんですよね。その話があったときは、待ってました と思いましたよ。

町長　私もいつも思っていたことなんですよ。いつも敬老会が終わるまでには、残っている方が少ないからねぇ。

石川　ええ、福祉課の方から話があったときは、健康教室の発表会ができると思いましたよ。

本当によかったと思いましたね。

町長　そうですよね。敬老会はお年寄りの方が自分たちでつくるものなんですよね。

石川　私もそう思います。もう来年の出演願いもきていますからね。「ちょっと待ってください」って、嬉しい悲鳴ですよ。(笑い)

自分達のことは、自分達で。好奇心を持って！

井上　「住みたいまち、住みつづけたいまち」を町民の皆さんに浸透していってる段階で、私たちも頑張らなければと思いますよね。

自分たちのことは、自分たちでという自立心が、やる気をおこさせていくものだと思いますよね。今からの高齢化社会を、乗り越えていくにはフケこんでちゃいけないですよ。私たちも、若い方も。

石川　そうですよね。いろんなことを勉強して、吸収して、それでもって健康でと、みんなができることなんですよ。何にでも好奇心を持たないとだめですからね。まずは、健康のために運動をすることからですよ。

司会　町長の運動の基本は、歩きからとおっしゃっていましたが、その他には何かやられてますか。

町長　盆栽、野菜作り、後は、猟、魚釣りだねぇ。

竹宗　能面を彫っていますよね。

町長　そうです。火曜日だけですがね。

司会　趣味の話が出ましたけれど、健康のために皆さんやってらっしゃるのはなんですか。

石川　趣味ではないんですが、私は多くの方と集うことを心がけてますね。ワイワイいうところに参加していますよ。でも、男性の方が少ないですよね。

井上　私は、時間があれば畑で野菜を作ってますね。運動のために歩かなきゃと思うんですが。

町長　いやいや、いいことですよ。全身使うでしょ。

井上　そうです。家で食べる野菜は、全部まかっていますよ。朝早くに畑に出るんですが、その後の朝飯がうまいですよ。陶芸以外の趣味は、魚釣りですね。もう磯釣りは無理なんですが、よく苅田町の防波堤に通いますよ。メイタ、セイゴが今釣れてますね。

田代　個人的には、茶道をやっています。以前は、エアロビクスとか太極拳を習ってましたけど、体がついていけなかったんで（笑い）運動は苦手ですね。

司会　ご主人の健康面で気をつけていらっしゃるのは。

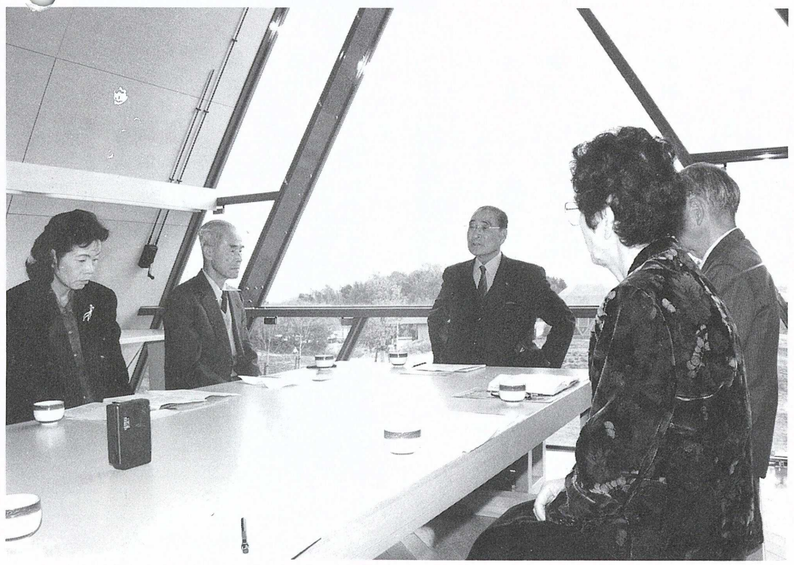
内助の功がある…？人から言われました。

田代　特にはないですね。主人は版画と歩くことが好きで、私が朝起きる前にもう出ていますもの。知っているんですけどね。主人が好きなことをできるのは、「内助の功がある」からって人に言われたんですよ。私はそんなこと思ってはなかったんですよ。（笑い）

竹宗　やっぱり食事面には、気をつけてますね。

竹宗　そうよねぇ。男の人はあればある分だけ食べてしまうものねぇ。私は、詩吟を15年やってます。エアロビクスも習っているんですがハードですよ。

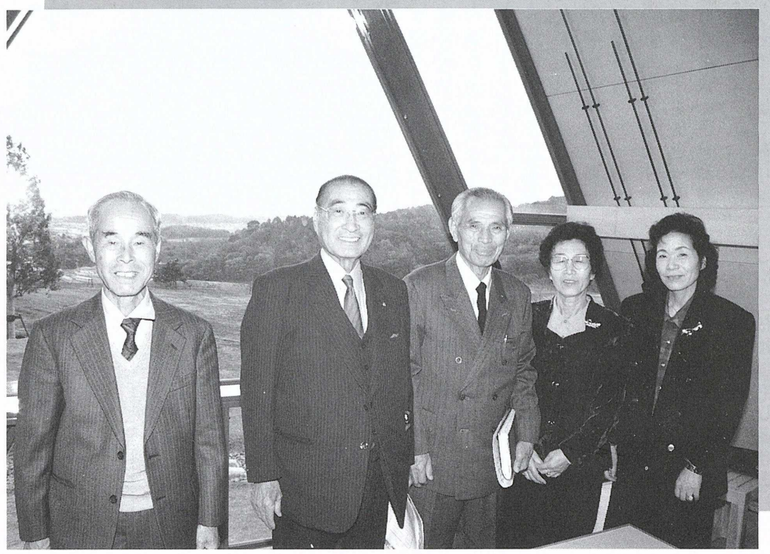
町長　健康の問題で、今年度保健婦を採用したのですが、健康面の相談をしていただきたいですね。保健センターの計画もありますし、どんどん彼女達と接してもらいたいですね。



石川　私なんか健康に関して、食事に気をつけてますよ。食物繊維を多く摂るように心がけてます。それに、寝る前に腰痛体操をしていますよ。

町長　あれはいいですよね。他にストレッチ体操も。

石川　ええ、ここに来る前にもやってきました。心臓の持病があって無理なのはできないんですけれどね。



健康が一番！

健康であることで生きがいも生まれてくる

町長　やっぱり、健康なくして町の発展はないし、また、生きがいも生まれてこないですね。今年度、福祉課が生きがい対策事業のひとつとして計画しています高齢者生きがい農園（ビニールハウス）のことで、ご意見をお聞きしたいのですが。やる気のある方の結集が必要と思いますね。

石川　そうだね。運営していくのにやはり責任というものが出てくるからね。町にしても、やられる方もね。

町長　それが大事なことですよね。

石川　組織の問題とか、検討、勉強する必要があるね。今日は、貴重なご意見、経験談を賜り長時間の対談を楽しむことができました。みなさんこれからも、お元気で頑張ってください。今後ともご協力をお願いします。

町長　ありがとうございました。

生きがいを語る……。

ゲストをお迎えしての対談は無事終了しました。みなさん始めは、固くなれらていたのですが、お話がはずむにつれてとても和やかになり、予定していた時間より長くなりました。さて、あなたにとっての生きがいとは何ですか。健康のために何かやっていますか。

（平成6年12月2日収録）
ふれあい塾研修棟にて

●高齢者生きがい農園　活動者募集●

対談内容にでもでました高齢者生きがい農園を平成７年３月に開園します。農園は、ハウス施設で、草花の苗づくり、花木の苗づくり、また、畑での野菜づくりです。活動を希望される方は、どしどしお申し込みください。資格は65歳以上で町内にお住みの方で、やる気のある方を募集しています。

生きがい農園でどんどん体を動かして、健康になりましょう。

お申し込み先は…

福祉課☎22－6664

1月31日までです。

年頭のご挨拶

町議会議長
屬　公　弘

平成七年の年頭にあたり、金田町議会を代表しまして、つつしんで新年のごあいさつを申し上げます。

町民のみなさん、あけましておめでとうございます。

ここに希望にあふれた新春を迎えるにあたり、皆様方のご清福とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

光陰矢の如しと申しますがまたたく間に一年が過ぎ、微力ながら円滑な議会運営と町政の伸展を期して、誠心誠意懸命の努力を傾注してまいったつもりであります。

おかげをもちまして、大過なく越年することができました。これもひとえに町民各位のご支援ご協力のたまものであると、心から感謝の意を表する次第であります。

三年余り続きました経済の不況は徐々に回復の兆しが見えてきたとは言え、地方自治体にも大きく影響を及ぼし、金田町におきましても税収の落ちこみ等大変厳しいものがあります。

議会といたしましては、この厳しい現実を正しく受けとめ議会に与えられました機能と権限を十分発揮し、効率ある行政の確立と住民福祉の増進を強く求めてまいりたいと存じております。

どうか本年も相変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げまして新年のごあいさつといたします。

あけましておめでとうございます

教育長
田中　貴美男

平成七年（一九九五）の新しい年を迎えまして、皆様のご清栄をお喜び申し上げます。

昨年は、小学校創立百二十周年記念行事、中学校では、県教育委員会委嘱の研究発表会が好評の中で終りました。

また、まちづくりの核として長年の願いであった〝ふれあい塾〟が十二月十日に開塾し、第一回入塾生四十名が、十四日から三泊四日の生活が始まりました。

社会教育行事では、春のコンサートなどをはじめとする各イベント行事や、青少年問題に関する諸行事、また、社会教育委員研究大会など活力ある生涯教育の実践で成功して参りました。これも偏に各種団体の皆様のご活躍があったこそと、感謝致しております。

昨年の夏から秋にかけて記録的な干ばつの年になり、日王山の尾根の杉、桧の若木や、通学路のつつじもたくさん枯れました。しかし、三つの川に育まれた地での水は渇れることなく、稲作も近年にない豊作となりました。

この豊かな水と肥沃な土地がある限り、ふるさとの活生力は、今後も発展するに違いありません。

あと五年で、二十一世紀を迎えようとしています。今年は学校週五日制がまた一日ふえますし、世の中の移り変わりも一層速やかになることでありましょう。

この新しい年を迎えた、さわやかな気持ちを生きる喜びのスタートとして皆様と共に明るいまちづくりに努力致したいものです。

金田町短歌大会
入選者発表

平成6年11月23日に、第14回金田町短歌大会が中央公民館で開催されました。

「ふるさとカナダふれあいフェスタ」最終日の6日までに、詠草を提出された28名が参加しました。

当日はまず出詠者全員による互選を行ない、町長賞、議長賞、教育長賞、公民館長賞各一首と、入選二首を選びました。

その後、選者ならびに講師をお願いしている阿部重宏先生の選による、天賞、地賞、人賞各一首と、佳作三首の発表も行なわれました。

各入賞者には、賞状ならびに商品が授与され、講師の阿部先生より各入選歌の講評と、全出詠歌について添削と指導がありました。

今年も実施予定になっていますので、より多くの皆さんのご応募をお願いします。

大会で選ばれた入選の詠草と作者は次のとおりです。

〔選者選の部〕

天　賞　　三村　和子
浮かび来し語彙のひとつを逃したり孫のことばに気を取られてゐて

地　賞　　稲富みつこ
生けるがに竹ひご踊らせて綱をあむ夫の手慣れし技の切れあじ

人　賞　　岡野富司生
札幌の大通り公園の夕暮れに二人食ぶる熱きバターじゃが

佳　作　　森　豪雄
喜寿にして現役なりと誇りしににわかの病がわが足うばう

佳　作　　田代　稔
ひややかな医師の説明聞きつつも手術台上の孫を見つむる

佳　作　　千手佐起子
六人の子らの巣立ちし隣家がいまこなごなにくだかれてゆく

〔互選の部〕

町長賞　　香月ミサヲ
手に余る鉢の重さも忘れたり白菊黄菊ほころびし今朝

議長賞　　三村　和子
浮かび来し語彙のひとつを逃したり孫のことばに気を取られてゐて

教育長賞　　福田　昌
金銀の光を返し往く山笠に二人の嫗が手を合わせをり

公民館長賞　　上原　安子
腰かがめ箒を手にし落葉掃く老母の背に赤き葉一つ

入　選　　市丸須磨子
ステップを踏みゆく少女に秋の陽の光からみて影を落せり

入　選　　林　美恵子
雑草に紛れ育ちし一本のコスモスは白き花を揺らせり

社会福祉協議会だより

社会福祉協議会

新しい年が明け、皆様ごきげんよろしく新春をお迎えのことと存じます。

皆様方には、社会福祉センターを日頃よりご利用いただき誠にありがとうございました。本年も多数のご来場を職員一同心よりお待ちいたしております。

社会福祉協議会では、住民一人一人の福祉ニーズに応える活動を積み重ねながら、誰もが安心して暮らしていける『明るく住みよい福祉のまちづくり』のために、社会福祉センターを拠点として福祉バスの運行、ホームヘルパーの派遣事業、社会福祉資金の貸付事業、赤い羽根共同募金など数多くの福祉事業に積極的に取り組んでいます。

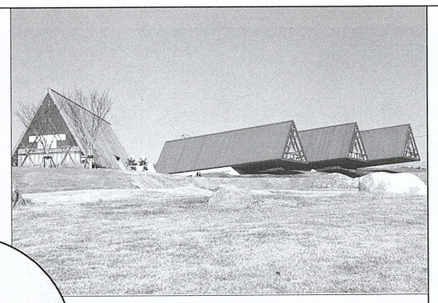
今後の重要事業といたしましては、在宅福祉サービスの一環として65歳以上の一人暮らしの老人、身体障害者世帯などに対する給食サービスを、平成7年4月より実施します。また、入浴サービス事業についても平成7年度末に計画しています。

これらの福祉サービス事業を実施するためには、民生委員の皆さん、各種団体の皆さん方のご協力と、ボランティアのご協力が必要となります。

今後とも、社会福祉協議会の活動に対しまして、皆様方の暖かいご理解と、ご支援のほど賜りますようよろしくお願い申しあげます。

ボランティア活動で
思いやる心をはぐくもう

ふれあい塾がオープンしました。



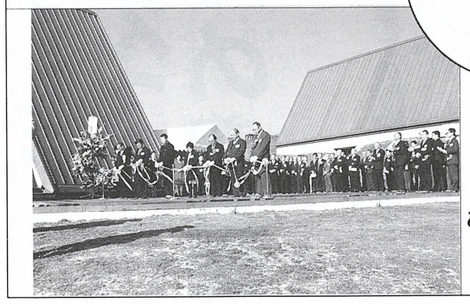
長い間にわたって、私達の町、金田の「ひとづくり」「まちづくり」の夢でありました〝ふれあい塾〟の、オープン式典が行なわれました。

この施設は、町内に残された数少ない自然の美しい日王山のふところに実現したユニークな建物です。

12月14日から、第1回の入塾が始まっています。この様子については、来月号においてお知らせします。

オープン式典
ふれあい塾
会員募集

支える会 会員募集!



「ふれあい塾を支える会」では、只今会員を募集しています。

年間費……おひとり　1,000円

お問い合わせ
ふれあい塾を支える会　会長 藤林俊信 ☎22-2875
または、金田町ふれあい塾　☎22-5400 まで

前月号に
ひきつづき……

農家の皆さん243人に聞きました。「私たちはこう考える、かなだの農業」PART Ⅱ

米市場の部分開放、食糧管理制度の廃止、米価の低迷等……。米の生産が農業収入の大部分を占める「かなだの農業」にとっては、正に農業経営の岐路に立たされています。

国が打ち出した農業・農村の活性化を図るための「新政策」には、大規模な個別農家や生産組織の育成が揚げられ、やる気のある農家を確保して優先的な援助を行なうシステムなども導入され、農業分野にも「人づくり」を行なうことにより農地や農業を守っていこうとしています。

地域の活性化や自然環境の保全など、農業の地域における位置づけは大きく変わりつつあるなかで、人（人材等の育成など）・開発（特産物や新規導入作物など）・ふれあい（朝市や産地直送など）に関する様々な意見が農家の皆さんから出されています。

今回は、12月号の「農業の現状」に引き続き、「私たちは考える、かなだの農業」の**核心**にせまってみたいと思います。

田畑（でんばた） 穂菜実（ほなみ）さんのプロフィール

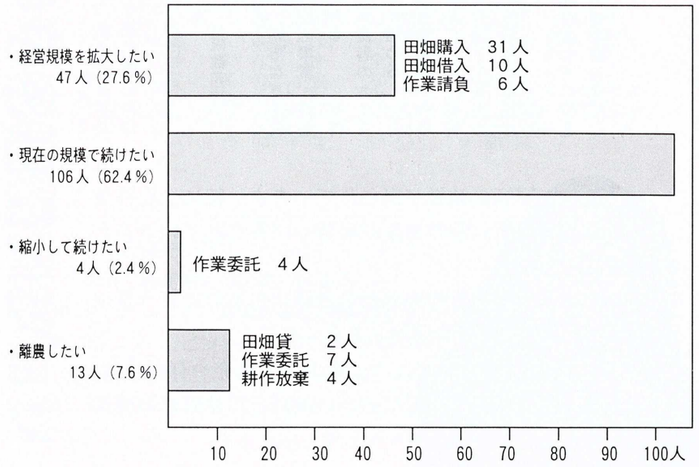
前回ワンポイント解説をお願いした耕作さんの奥さんです。「私もこう考えるワ！」ということで女性の目から見た〝農業〟を語っていただきました。

農業経営の意向について

Q. 将来（5年くらい先）の農業経営の意向、方法についてお尋ねしました。

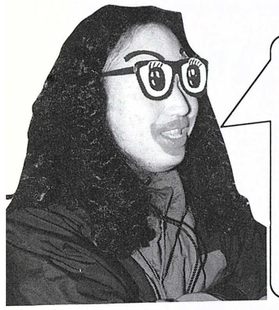
（回答者数170人）

●経営規模についての回答



●経営規模を拡大したいという方47人にお尋ねしました。
拡大したい部門は？

稲作	42人（89.4%）
施設野菜	5人（10.6%）
花き	0人
その他	0人



お米を作ることを希望している農家の人が、とっても多いですね。お米も販売の自由化などきびしい状況になってきたけど、かなだのお米の良さをもっとアピールするといいわね。これからは、作るだけじゃダメ、売り方も勉強しないとね。それから、お米だけじゃなくて施設野菜などを作るともっと農業もおもしろくなると思うわ。

経営規模の拡大意向を示す農家が、全体の3割近くあり田畑の購入や借入が大部分を占めています。また、これら農家の9割近くが稲作による拡大を希望しており、米の市場開放や価格が低迷していても稲作志向が依然強いことがわかります。稲作による経営の改善策や、施設化を含めた複合的経営のメリットなど今後検討が必要です。また、縮小や離農（農家をやめる）を希望する農家も1割あり、これら農家が所有している農地の利用調整など、具体的な検討も必要となります。

減田農地の有効用について

Q

現在、かなだでも米の生産調整により水田の転作（田を利用して米以外のものをつくる）を推進しています。

これら、転作している水田の活用方法についてお尋ねしました。

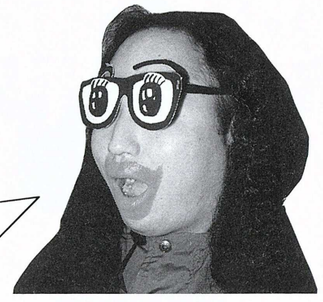
（回答者数112人）

A

- キャベツなど露地野菜を生産したい。　45人（40・2％）
- 簡単な施設（ビニールハウスなど）で野菜を生産したい。　11人（9・8％）
- 花など収益性の高い作物を生産したい。　24人（21・4％）
- イチジク、モモなど果樹を生産したい。　4人（3・6％）
- その他（麦、大豆、れんげなど）　28人（25・0％）

キャベツなどの露地野菜を生産したい人が、全体の4割を占めています。これは、転作の対応で生産される野菜の流通や、販売が朝市などで可能になったことが予想されます。また、キャベツは市場での需要が高く、価格が安定していることも理由として上げられます。

収益性の高い施設野菜や花きなどの栽培を希望する農家が全体の3割以上もあり、やはり最近の麦、大豆などの価格低迷によるものと思われます。しかし、野菜の生産は、価格の不安定さや収益性の高い施設野菜、花きなど設備投資や労働力などの面から、今後の検討課題が多くあります。



露地野菜、施設野菜、花きなど生産を希望している人が、7割以上いますね。おどろきました。最近では、こんな農家のために、野菜の価格が暴落しても最低価格を補償するシステムや、施設化・新技術を導入するための援助などいろいろあると聞いていますよ。
一度、役場や農協に相談しては？

これからの農業ビジョン

Q. 農業、地域の活性化を進めるうえで、今後必要と思われる施策についてお尋ねしました。

（複数回答）

A.
- カナダふれあい朝市などを利用して、産地直送事業、特産品の開発を進める。　49件
- 有機農業など消費者のニーズにあった農業を進める。52件
- 米に替わる収益性の高い作物を選定して普及させる。40件
- 生産コストを低減させるために農業機械の共同利用を進める。　48件
- 農作業の受託組織などの推進と、若い農業後継者の育成など。　61件

全項目で同等の結果が出されています。特に、農作業の受託組織や担い手の育成が必要と回答されている方が多く見られます。

これは、今後の農業従事者の高齢化やそれに伴う農地の行方に対する不安の表れと考えられます。

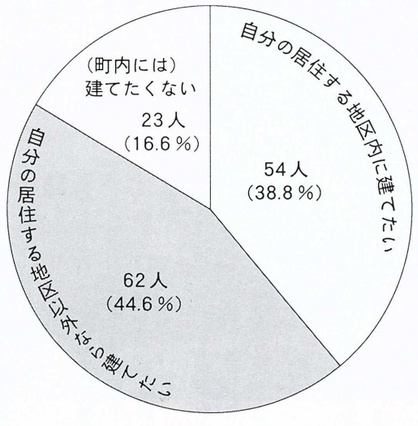
今後、人材育成を基本として、特産品の開発や有機農業、収益性の高い作物の選定など、いろいろな分野での農業振興策を検討する必要があると考えられます。

やはり、「農業振興も人材の育成から」なのでしょう。

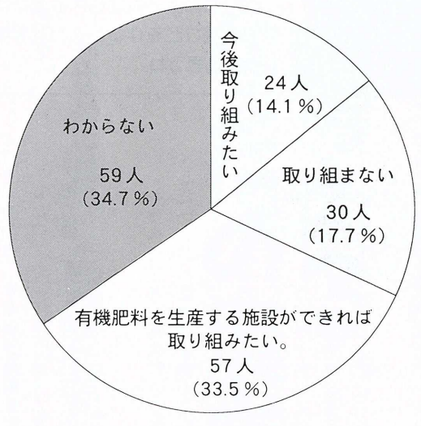
物を作るにしても、農地を守るにしても「人」の掘り起こしが重要だわ。かなだの農業も「人」が中心になって守り、そして発展させていくことが必要ではないかしら？

有機農業と堆肥センターの導入について

Q. 今、各地で話題の有機農業への意向と、それら有機肥料を生産する施設の導入についてお尋ねしました。



有機農業への意向（回答者数170人）



有機肥料を生産する施設の導入（回答者数139人）

有機農業に取り組みたい、または、施設ができれば取り組みたいという人が、全体の5割近くを占めており、有機農業に対する関心の高さを示しています。

また、有機肥料を生産する施設の導入に対しても、取り組んでみたいと答えた農家とほぼ同数の人が導入を希望しており、今後、具体的に検討する必要があります。

有機農業、施設導入については、皆さん積極的ですね。

でも、有機農業ってなに？

無農薬野菜と有機野菜のちがいって何んなの？

わからないから、ふれあいフェスタの朝市コーナーに来た10人の方に聞いてみたの。

消費者の声

Q. 有機野菜をご存じですか。

知っている。　9名
知らない。　1名

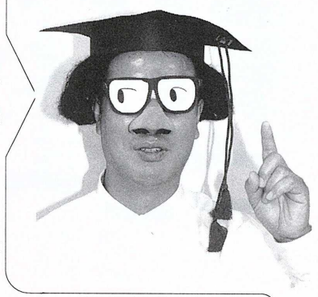
Q. 有機野菜に関心がありますか。

関心がある。　4名
どちらかといえばある。2名
関心がない。　4名

他にご意見をいただきました。

- コンポスターを利用して家庭菜園をやっているんですが、虫が食ったり、病気が出たりで余りうまくできないんです。無農薬野菜って本当にできるの。でも、食べるのは安全な方がいいわね。
- 子どもによく生野菜を食べさせているので気をつかってます。でも、本当に無農薬なのか心配です。身近に売っているところがあれば買います。
- 農家の人も自分で食べるものには、農薬をあまり使わないって聞いてます。やっぱり体に悪いんでしょうね。でも、消費者は虫食い野菜なんか嫌うので、きれいない物を作らざるえないのではないでしょうか。買う側にも問題があると思いますよ。私は、安全な物があれば欲しいですね。
- 金田でするんですか。（有機農業のこと）有機肥料を使うと、田んぼの周辺なんかすごく臭いんじゃないの？私は反対です。
- あまり関心がありません。今の野菜でも危険なことはないのではないでしょうか。

いろいろな意見をいただきました。みなさん安全性の高い農産物には、関心があることがわかりました。でも、有機農業と無農薬農業の違いについて、ピンとくるものがなかったの。有機肥料生産施設のこともわからないからうちのだんな“耕ちゃん”に説明してもらいましょう。



……そうだね。みなさん、作物の農法については、言葉の意味から勘違いをされている方が多いんじゃないかな。

戦後、日本の農業は化学肥料や農薬を大量につかっての「化学農法」によって、生産力を高めてきたんだけれど、一方で地力低下や農薬害などの深刻な弊害をもたらしてきたんだ。その反省から、堆肥などを利用した土づくりを重視した土壌生態系の保持と、安全な食糧生産をめざす農法として、有機農業が提唱されるようになったんだ。有機農業といっても、農薬や化学肥料を使わない自然農法から省農薬、省化学肥料農法まで、その幅が広く多様なんだよね。少し前まで「有機栽培」「有機農法」などと表示した農産物が氾濫するようになって、農林水産省で自主基準づくりを進めているんだよ。

一方で、日本有機農業研究会というものあって（1971結成）、そこ独自の基準を設けているんだよ。

①除草剤を3年以上使わない。
②有機質堆肥で土壌を作る。
③化学肥料と農薬は最小限にする。

として、この要件にあった農産物には「有機質農産物」というシールを貼って出荷しているそうだよ。また、国際有機農業連盟は「化学物質は排除して、有機農業へ転換してから3回目の収穫以降でなければ有機農産物と表示できない」としているんだね。でもね、表示が不適質、品質の確認ができない、割高である、との消費者の批判が多いことも考えてほしいんだ。

そういう背景のもとで、農林水産省は有機農業なんかを含めた政策「環境保全型農業」を基本方針とすることを今、進めているんだよ。

少し前説明が長くなったけど、アンケートの有機農業、堆肥センターの説明は、まず堆肥センターは、有機資材をつくる所で、主に牛、豚、鶏など家畜の糞尿と、家庭から出させる生ゴミなどを乾燥させて肥料を生産する施設なんだ。かなだの農家のみなさんが、めざす有機農業とは、化学肥料を一切使わずに、堆肥センターで生産された有機肥料を、1反当りに約2トン以上を投入して3年以上続けた農地での栽培方法なんだよ。

ちなみに無農薬栽培というのは、苗を作る段階から農薬を一切使わないもので、減農薬栽培とは、病害虫防除などで散布する回数を減らすか、地域で行なわれている防除の加数より、農薬散布を少なくする栽培方法なんだよ。

最後に多くのみなさんに考えてもらいたいのは、外国米の輸入問題をきっかけにして、農産物、食糧品の安全性を真剣に考えるようになったことは、良いことなんだけれど、農薬などの問題は日本だけの問題じゃなくて、全世界の人だって苦しんでいるんだ。これから農薬というものを、どう取り扱うのかは、21世紀の人類の重大な課題の一つだと思うね。

私たちは自分達の勝手ばかり考えて自然を破壊してきた。その代償を今、払うときなんじゃないかな。

自然に人にやさしい農業を、考えるときだよ。

2か月に渡り「かなだの農業に関する意向調査」は、いかがでしたか。農家が今、かかえている問題や、これから解決すべき課題がいくつか見えてきたのではないでしょうか。

農地や農業を守り育てていく人づくりや、新しいものを作りだすチャレンジ、そして消費者のニーズにあったものを生産し、交流を深めるふれあいが、「元気なかなだの農業」を再生していく、3つのキーワードです。

夢を現実に……。

農家の皆さんといっしょにがんばって行きます。

こんにちは 保健婦です。

心の若さを保つライフスタイル

いつまでも心の若さを失わずにいたれたら……
誰でもそう願っているものです。加齢による体の変化は防ぐことができませんが、心は本人の気持ち心の持ちようで、いつまでも若々しくいられます。

人によって、年齢より若く見えたり、ふけて感じたりしますが、それはどこからくるのでしょうか。その人の人生観・価値観・ライフスタイルが若々しさとなって現れてくるように思われます。
ときには固定観念を思い切って捨て、新しいライフスタイルや発想の転換にチャレンジしてみましょう。

いつまでも若々しくいるための ニューライフのすすめ

お金・時間を使う

お金や時間を使うのはもったいない……なんて思っていませんか。思い切って自分に投資して、限られたものを有効に使いましょう。自分らしいファッション・趣味・遊びなど自分のために投資することは、けっして「もったいない」ことではありません。

情報に敏感 好奇心旺盛

自分の仕事についてだけでなく、世の中の動きすべてに敏感になりましょう。きっとあなたの世界が広がるでしょう。
そして、何にでも疑問を持ち、探求心、好奇心旺盛でいることが大切です。

感受性を失わない

仕事に追われていると心が失われます。美しいものを美しいと感じ、素晴らしいものを素晴らしいと感動する心と、その表現力を持ち続けていましょう。音楽や絵画、映画に文学と、ときには、自分でもチャレンジしてみまんせか。

大きな包容力を持つ

自分にできることと、できないことを認識することは重要なのですが、なかなかそれができません。できないことをしてもらうことの大切さを知って、素直に受け入れましょう。豊かな人生経験に裏打ちされた自信があるからこそできることです。

おしゃれを忘れない

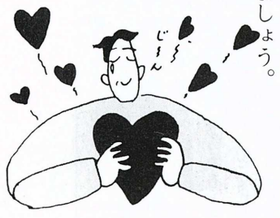
おしゃれは、若々しさの秘訣。おしゃれをすると、心までもいきいきとしてきます。自分の個性に合った自分らしい格好で、いつもおしゃれを忘れずにいましょう。

遊び心を拾てない

何事も真正面に受け止め、味気ない思いをするのではなく、遊び心でとらえてみてはどうでしょうか。ときには、社会通念にこだわらないことがあってもいいでしょう。

仲間をたくさんつくる

生き生きとした生活に仲間は欠かせません。友人とも家族ぐるみで交際しましょう。友人を増やし、できれば地域にも溶け込み、交際上手になりましょう。



まちのわだい

人見地区 敬老会

11月20日、人見地区では地区のお年寄り45人を招いて、敬老会が行なわれました。
当日は文化祭をかねて催され、式典では、平成筑豊鉄道よりボランティア表彰を受けた人見老人クラブの方に、人見区から感謝状と花束が贈られました。
また、祝賀会では、小、中学生の祭ばやしや婦人コーラスなどのアトラクションがあり、人見地区の多くのみなさんが楽しめた敬老会となりました。

一筆を心をこめて…

日王焼窯元では、ふれあい塾オープン式典出席者の方に記念品として贈られる“獅子頭”の製作に、11月末から急ピッチでみなさんは手作業に励んでいました。
取材当日は、色づけ作業の真最中で、みなさん一つ一つ心をこめて筆を走らせていました。

福祉活動の第一線へ

ホームヘルパー1号車に続いて11月に社会福祉協議会へ、活動車2台目が金田町より贈呈されました。
この車は、65才以上のお年寄りの介護や家事のお手伝いを必要とするご家庭をホームヘルパーが訪問してお世話をする「在宅福祉サービス」の一環として使用されます。
ホームヘルパーのお世話を希望される方は、役場福祉課までお問い合わせください。
☎221-6664

カメラルポ

11月30日 かみまち“神待”

12月2日 えびす祭

師走あれこれ

師走の風動詩として、稲荷神社では氏子による「神待」が11月30日に行なわれました。12月2日には宵恵比須、翌3日には講座が行なわれ、たいへんなにぎわいでした。

おしらせ 1月 Information

車を売ったときは？廃車したときは？

車を売ったときは移転登録（名義変更）の手続きを。

車を廃車したときは、抹消登録の手続きをしてください。

中古車を買うときは、その車の納税状況の確認をお取りください。

手続きがまだだと、いつまでも名義人に自動車税が課せられます。自動車税に関するお問い合わせは、県税事務所☎44－8111まで。

危険物取扱者試験・準備講習会

田川地区消防本部

危険物取扱者の試験と準備講習会を、次のとおり行います。

〈試験〉
試験日　平成7年3月12日（日）
試験種類　乙種第4類
試験会場　近畿大学九州工学部

〈準備講習会〉
講習日　平成7年2月26日（日）9時～17時
講習会場　田川地区消防本部

〈受付〉
試験及び準備講習会の受付は、（期間）1月20日（金）～31日（火）まで田川地区消防本部に提出してください。

土・日は受け付けませんので、ご注意してください。

また、申し込みに必要な書類は、金田分署（天神町）にも準備しています。

お問い合わせ
田川地区消防本部
予防課危険物係
☎44－0650

看護職員等の業務従事者届

福岡県保健環境部

歯科衛生士、歯科技工士、保健婦（士）の方で、この業務に従事している人は、2年ごとの12月31日現在の氏名、住所などを届け出ることが法律で義務づけられています。

該当する人は、1月15日までに田川保健所へ届け出てください。

くわしくは、田川保健所☎44－0666または、福岡県保健環境部医療指導課までお問い合わせください。
☎092－651－1111

技術講習会のお知らせ

福岡県女性就業援助センター

福岡県女性就業援助センター筑豊支所では、就業希望の女性を対象に技術講習会を開催します。

ご希望の方は、次のとおりお申し込みください。

●科目　ワープロ
●定員　20名
●講習期間　平成7年2月13日～3月13日（毎週月～金）21日間
●受講時間　10時～16時
●受講料　無料
●講習会場　飯塚総合庁舎
●申込受付日　平成7年1月9日～10日、9時～17時
●申込方法　電話申込み
後日面談をします。

お問い合わせ、申込み先は、福岡県女性就業援助センター筑豊支所
飯塚市新立岩8番1号（福岡県飯塚総合庁舎1F）
☎0948－23－4156

田川郡民マラソン大会参加者募集！

田川郡民マラソン大会に出場される方を募集しています。

・日時　平成7年1月22日（日）
受付　9時～9時30分
スタート　10時15分
※小雨決行
・会場　大任町田川農協大任支所
・対象　小学校5年生から60歳
・距離　3km・5km

対象	性別	3km	5km
小学校5・6年生	男	○	
	女	○	
中学校	男	○	○
	女	○	
高校生	男	○	○
	女	○	
18～30歳	男	○	○
	女	○	
31～45歳	男	○	○
	女	○	
46歳以上	男	○	○
	女	○	

・表彰　各男女別に3位まで表彰
参加者全員に記録証

お申し込み先
教育委員会社会教育課
☎22－2200
1月13日まで申し込みください。

1月のこよみ

1日　元旦
4日　官庁ご用始め
6日　小寒
7日　七草
11日　鏡開き
15日　成人の日
16日　やぶ入り
20日　大寒

毎週土曜日

午前8時30分から午後1時まで

かなだふれあい朝市

作って㋕感動、買って、㋔仲良し、みんな㋟大好き

ところ：堀川幹線道路（JA田川 金田支所 ☎22-0009）

福祉課からのお知らせ

福祉課

予防接種の日程
・三種混合・
1月12日（火）　13時30分～
会場　町民会館

乳児相談の日程
毎月第三金曜日　10時～11時
1月は20日です。
会場　役場仮庁舎

1才6か月健診の日程
1月31日（火）　13時30分～
会場　役場仮庁舎

補聴器相談の日程
毎月第二金曜日　9時～10時
1月は13日です。
会場　役場仮庁舎

お問い合わせ
福祉課　☎22－6664

成人式のご案内

社会教育課

昭和49年4月2日から、昭和50年4月1日まで生まれた方が対象となります。

・日時　1月15日（日）10時～
・会場　金田町総合会館

お問い合わせ
社会教育課
☎22－2200

1月8日(日)は、下田川4か町連合消防出初式

9時30分～

会場　ふれあいスポーツ公園

あたたかい善意ありがとうございました

次の皆さんからご寄付をいただきました。

この寄付金は社会福祉事業の充実のため、有意義に活用させていただきます。

社会福祉法人
金田町社会福祉協議会

（寄付金）
（有）堀川石油
代表　岩元　眞弓　様
田川市糒　村吉　義正　様

（香典返し）
○故　加藤　満　様
高見町　加藤　聖司　様
○故　白井しげ子　様
敷島町　白井千寿子　様

パノラマたがわ

赤池町☎(28)2004

●成人式
1月3日（火）　10時～
会場　同和対策中央研修所

●健康講演会
「いつまでもイキイキと健やかに生きたい」
1月29日（日）　12時30分～
会場　同和対策中央研修所
講師　江森　陽弘　氏
ジャーナリスト
※入場無料

糸田町☎(26)1231

●糸田町カルタ大会
1月8日（日）　9時～
会場　文化福祉総合会館

●成人式「はたちのつどい」
1月15日（日）　10時～
会場　文化福祉総合会館

方城町☎(22)0520

●農産物直売ふれあい市
毎週土曜日　10時～
ところ　町立医療センター前

田川市☎(44)2000

●Vリーグ男子バレーボール
田川大会
1月29日（日）　12時～
会場　田川市総合体育館
入場料　3千5百円～
発売場所　田川市総合体育館
田川地区運動具店

●住宅に関する無料相談
1月10日（火）　10時～3時
会場　田川青少年文化ホール
大会議室
問い合わせ
田川市住宅管理公社
☎44－9889

香春町☎(32)2511

●出初式
1月8日（日）　10時～
会場　役場前広場

●成人式
1月15日（日）　9時～
会場　中央公民館

●ふれあい朝市
毎週日曜日9時～
場所　役場前広場

川崎町☎(72)3000

●川崎町消防団出初式
1月8日（日）　9時～
会場　川崎小学校グラウンド

●子ども会冬季運動会
1月22日（日）　8時30分～
会場　町民会館

赤村☎(62)3001

●成人式
1月15日（日）　10時～
会場　住民センター

●赤村消防出初式
1月16日（月）　10時～
会場　コミュニティ広場

●農業・農村活性化シンポジウム
1月27日（金）　13時～
会場　源じいの森

大任町☎(63)3000

●成人式
1月15日（日）　10時～
会場　レインボーホール

●消防出初式
1月22日（日）　10時～
会場　大任中学校

●田川郡マラソン大会
1月22日（金）　10時15分～
JA田川大任支所前スタート

●新春囲碁大会
1月29日（日）　8時30分～
会場　大任町公民館

添田町☎(82)1231

●新春たこあげ大会
1月7日（土）　13時～
会場　サン・スポーツランド

●添田町いろはカルタ大会
1月7日（土）　14時～
会場　オークホール

トピックス Topics

ミニトマトの栽培を勉強されていました。

▲ザムリさんと永冨久三さん、ツーショット！

マレーシアからの友人

20日間の国際交流

11月4日から24日にかけて、神崎の永冨久三さんのお宅に、マレーシアから来日しましたザムリ・ビン・マハムードさん（23歳）が20日間にわたりホームステイしました。

ザムリさんは、（財）オイスカ産業開発協力団西日本研修センターに、昨年1月に来日し、約1年間の農業研修期間を終えて、12月18日に帰国されています。ザムリさんと永冨さんにお話をうかがったところ、ホームステイの始めに生まれて初めてカゼをひいたこと、ミニトマトのことなど、楽しそうに語ってくれました。

編集後記

あけまして
　おめでとうございます。

今年も広報カナダをよろしくおねがいします。

一年の計は元旦にありと、ことわざがあります。何ごともはじめが大切ということなのですが、今年は元旦から取材（予定）で、計画を考えるヒマさえない一年になるのかなぁと思っています。少しは目標が必要と考えてはいるのですが、毎年一年がボーと過ぎて、なくすものが多くて得るものがトシだけですから近頃そう感じるのかもしれません。

さて、今月号では「生きがいを語る」を収録しましたが、私の場合は と聞かれると、即答はできないですね。楽しみなことはいくらでもあるのですが、イコール生きがいとは語れなく、ましてや仕事が生きがいだなんて言えない。でも、生きていくため、生活を営むための手段が仕事（労働）であるから、遠からずそうなのかもしれません。生活の場は役場であるし、そこ中心に時間が流れていく現実ですから、そう考えてしまうのでしょう。まぁ、これからもいろいろな選択肢があるから、前だけ見つめてがんばれば何かみつかるでしょう……？

一富士　二鷹　三ナスビ……。

初夢の話ではないけれど、私の今年の夢は、二の鷹。王さんの胴上げが見たいです。

FAでかなりの戦力補強やってますから、今年こそはと期待しています。広報もFAで戦力アップやってもらいたいのですが、編集後記に勝手なことばかり書いているから、トレードに出されてしまう心配もあります。

皆さん、今年も情報お持ちしています。

人のうごき

★人口……8,679人（－19人）
　男性……4,145人（－9人）
　女性……4,534人（－10人）

★世帯数3,040世帯（－10世帯）
　11月中の人の動き
　・出産　5人　・死亡　6人
　・転入　14人　・転出　32人

12月1日現在